

◆2023年 中学入試算数 講評【桜蔭】

今年も例年と同様、大部分が思考力を問われる問題でした。同時に、これも例年通り長文の意味をくまなく読み取ることや、煩雑な計算や処理を効率的にまとめる工夫をした上で、早く正確に解くことも求められる内容でした。

歴代の桜蔭の中でもトップクラスに難易度の高い構成で、現在確認する限り、男子校や共学校を合わせても今年度で最もタフな問題群かと思います。

小問集合の(3)が帯グラフを元に分かることを答える問題なのですが、見たことのない設定で高度な論理思考が問われる面白い出題でした。